

宇久島の未来へ



発行人：宇久島みらいエネルギー合同会社

問合せ先：宇久島総合開発株式会社 0959-57-2411

創刊に寄せて

近年、石油や石炭などの化石燃料による発電や原子力発電に代わるエネルギーとして再生可能エネルギーの活用が注目されています。

再生可能エネルギーとは、水力、潮力、地熱、太陽光、風力などの自然現象から得られる自然エネルギーのことです。

自然エネルギーの中でも特に、太陽光を利用した発電所が全国各地で作られており、今回の宇久島みらいエネルギー合同会社が推進している事業もそのひとつであり、日本で最大規模となります。

現在、宇久島の皆様方に、この事業がどのようなものかご理解していただくために説明会を開催していますが、説明会以外においても宇久島の皆様方に様々な情報を発信致したく存じ、その方法として「宇久島の未来へ」を創刊することと致しました。

紙面には、本事業の内容と宇久島振興策の取り組み、工事作業の進捗状況と工事予定、携わる社員の紹介などの掲載を予定しています。

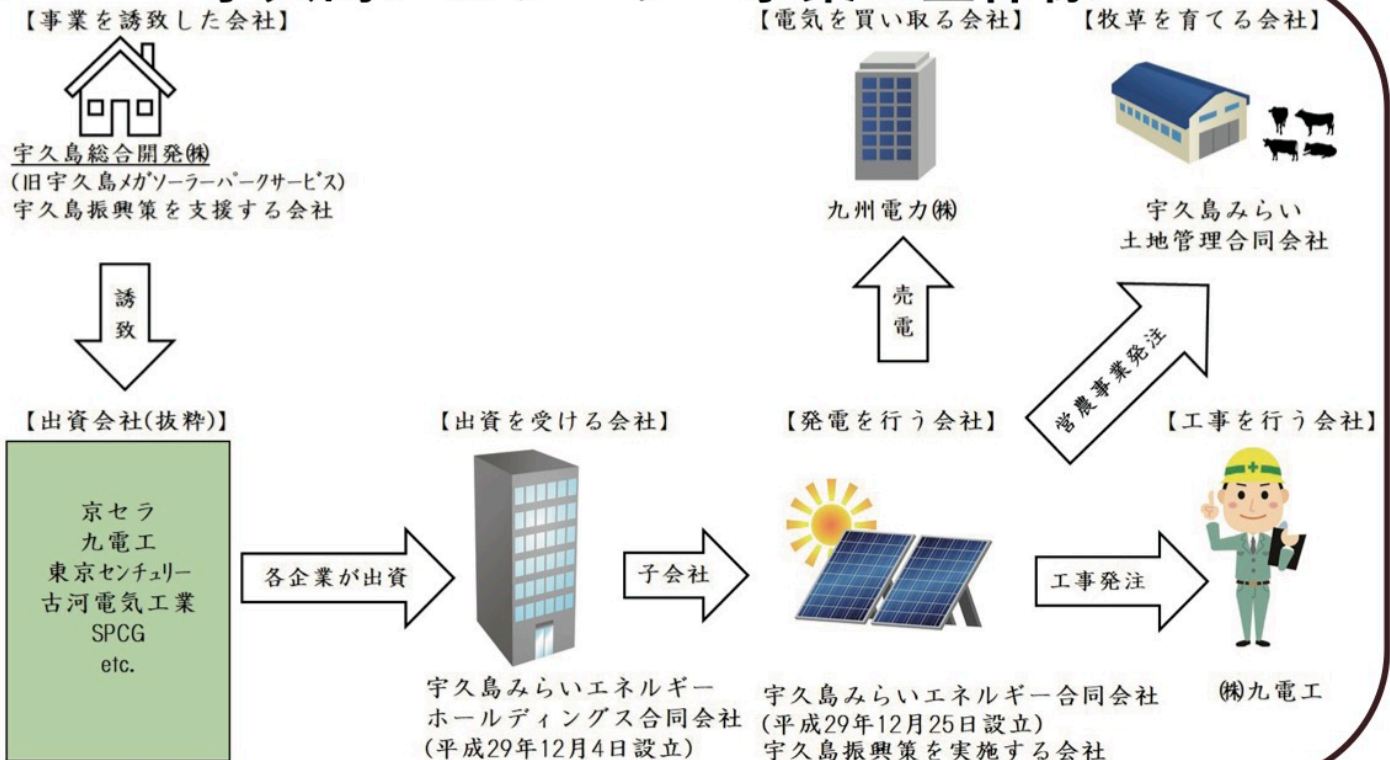
本創刊号では、宇久島メガソーラー事業の全体像を紹介致します。

本誌が宇久島の皆様方との相互理解と親睦融和の一助となれば幸いです。

令和2年12月吉日

宇久島みらいエネルギー合同会社 一同

宇久島メガソーラー事業の全体像



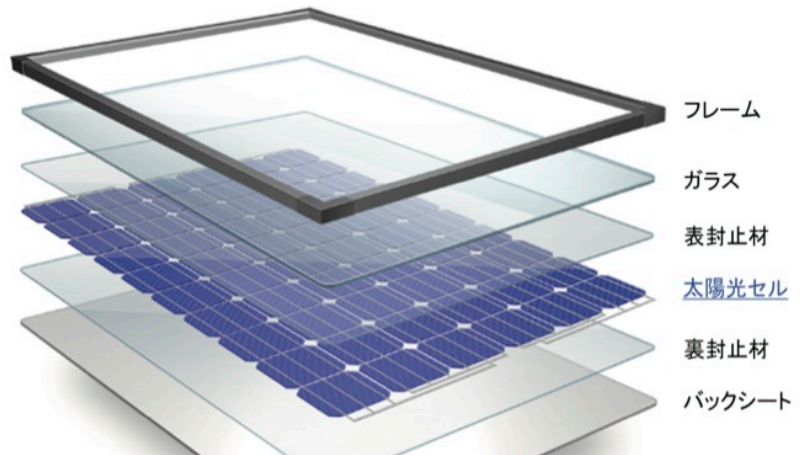
【ソーラーパネルの構造】

使用するソーラーパネルは京セラ製で、国際機関より認められた電気安全環境研究所が定める性能試験、もしくはその基準以上に厳しい試験を採用し、合格した製品を出荷しております。特定有害物質については各部材メーカーの構成成分表よりカドミウム、水銀、ヒ素、セレン等が検出されていないことを確認しております。

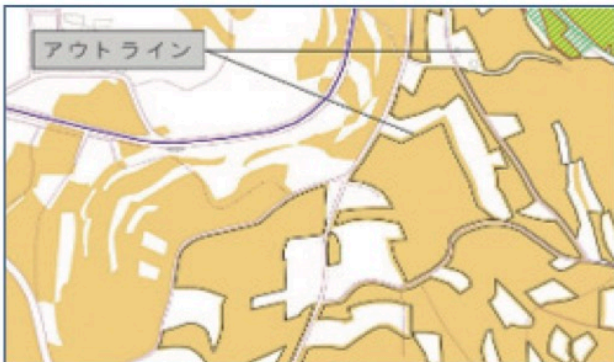
但し、パネル内の配線接続部（右図：太陽光セルの部分）の半田付けに、総重量の0.05%の鉛が使用されております。

しかしながら、全て固体材料から構成されており、表面ガラス、封止材、バックシートにて密閉保護された状態になっているため、パネル本体から鉛が流出、あるいは飛散する事はありません。

よって、周囲の環境に影響を及ぼすようなことはございません。



【事業の状況報告】



アウトライン確定の参考図面



アウトライン測量実施の風景
(必要最小限の除草・伐採を行っています)

アウトライン測量の実施

事業を推進する為には事業用地ならびにソーラーパネル設置の範囲を確定することが必要となります。

確定させるためには、地元関係者の立会いのもと、測量を行うことになり、その為の必要最小限の除草・伐採を行います。現在、一部試験的に試行致しております。

設置範囲が確定すれば、事業用地とパネル設置範囲を示すレイアウトを検討する作業へ移ります。

レイアウト確定の為には、地元関係者との協議を実施し、確定後架台やパネルの設置工事に着手致します。

今後も、継続して情報の発信を致します。